

【論・旭川】 掲示板

旭川や地域に関する話題や情報なら基本的にどんなことでも書込みOKです。
もちろんサイトに関するご意見・ご感想・誤りご指摘等大歓迎です。
私momongaも自分なりに気になった話題があればブログ代わりに書込みます。



誹謗中傷やマナーに反する投稿については管理者権限において警告あるいは削除いたします。
また宣伝広告の無断リンク等の行為はアクセス制限の上無条件に削除いたします。

なお当掲示板は画像添付やタグの使用が可能ですがあまり極端な使用はお控えください。
特に文字サイズの乱用は掲示板全体を見づらくしてしまいます。
画像については容量1MB以内を同時に3枚まで投稿可能ですが実際には横サイズ400ピクセル相当に縮小表示されます。
投稿画像は画像をクリックすると最大800×600のサイズで見ることができます。
1MBを超える画像は投稿時エラーになりますので適切なサイズに縮小の上ご投稿ください。

[Reload](#)

【重要】teacup.byGMOのサービス終了について

<思いやりのあるコミュニティ宣言>
teacup. 掲示板は、皆様の権利を守りながら、思いやり、温かみのあるコミュニティづくりを応援します。
いつもご協力いただきありがとうございます。

投稿者

メール

題名

投稿

確認

内容



入力補助



画像・ファイル

[\(詳細\)](#)

 youtubeの<IFRAME>タグが利用可能です。

URL

[[ケータイで使う](#)] [[BBSティッカー](#)] [[書込み通知](#)] [[検索](#)]

キーワード: [旭川](#) [情報](#) [歴史](#) [[その他](#)]

検索

《前のページ

23

24

25

26

27

28

29

30

31

32

次のページ》

全1586件の内、新着の記事から50件ずつ表示します。

新駅舎が見えてきました 投稿者: [momonga](#) 投稿日: 2008年10月 1日(水)21時15分34秒

[返信・引用](#)

古い建物が消え行く中、一方では新しい建物が着々と姿を現しつつあります。

新しい駅舎がいよいよ棟上げを始めました。
全体の躯体を徐々に積み上げて行くのではなく断片的に棟上げして行く工法のように

です。
まだほんの一角に過ぎませんが全体の形を連想させるには充分ですね。



Re: 越後屋旅館 投稿者: [momonga](#) 投稿日: 2008年 9月27日(土)12時47分6秒

[返信・引用](#)

越後屋、壊されてしまったんですか！？
ぜんぜん知りませんでした・・・残念です。

確かこの建物は市の文化財にも指定されてたはずですよ？
明治の創業以来の建物が残されてた唯一の旅館だったと思いましたが、
どうしてもっと話題にならないのか不思議です。

壊されてから話題になってもしかたないですけどね・・・

越後屋旅館 投稿者: [IMAI](#) 投稿日: 2008年 9月23日(火)12時01分40秒

[返信・引用](#)

市内2条9丁目の越後屋旅館が取り壊されていきました。
また一つ消えてしまいました。



永山村の明治天皇命名説 投稿者: [momonga](#) 投稿日: 2008年 9月 2日(火)21時39分38秒

[返信・引用](#)

何を唐突に！と思われるかもしれませんが、
southcloudさんとメールにてやりとりする中でたまたまこの話題に触れましたので
皆様にも・・・

実は私も当サイト中で旭川の名の由来を考える上で永山の名は重要なヒントと言いつつ、
こういう由来説があるのだと知った時は「ええ～～！？」とさすがに半信半疑でし

た。
 それでこれまではサイトでも掲示板でも触れずにおいた訳ですが、
 しかしこの説は永山町史や町勢概要にも記載されている話であり、
 昭和30年代半ばの旭川市広報でも市史小話として掲載された話なのです。
 この経緯について書かれた故村上久吉氏の著書を読み、決して絵空事などではない
 と確信した次第です。
 その抜粋を紹介します。

(前略)

同地の特色ある屯田兵の一人であり、有力者であった乾咲次郎氏の日記風の自叙伝
 を見るに、
 驚くべきことを発見する。
 大正9年7月、開村30周年記念式典に臨席した將軍の嗣子武敏氏が見送りの氏や
 目良謙吉氏らに、
 「親父が永山に力を尽くしたから永山と命名したのではない。
 親父が明治21年9月、明治天皇に本道屯田兵村の開拓状況を申し上げた時、
 上川地方の状況と屯田設置計画を付け加え、まだ村名もなく考え中の事を言上す
 ると、
 天皇はしばらく考えられていたが、
 『お前が力を尽くす村だからお前の姓を取って永山村と名づけるがよい』との仰
 せ。
 綸言汗の如しで辞退もできず恐縮してさがったが、それよりこの地方を漠然と永
 山村と呼んでいた・・・」
 (後略)

(著者村上氏が昭和30年代の当節掲載前の事)

私が一月、東京に將軍の三男武美氏を訪うてただしたのに、
 「わしも聞いているが、まちがいはあるまい。
 それに父は決して自分で自分の姓を村名につける人ではない」と。
 (抜粋終)

この話には永山村のこの驚くべき由来以外にもう1つたいへん重要な意味が含まれ
 ています。
 それは開村の少なくとも2年前から永山武四郎自身が村名を思案していたという点
 です。
 当時はちょうど上川に6個中隊、屯田兵村3村を設置する事が決まった直後で、
 永山武四郎の言う村名がこの時点では屯田兵村を意味していたとしても、
 命名すべき兵村は永山1村だけでなく3村であり、当然ここに後の旭川兵村が含ま
 れる訳です。
 つまり永山武四郎自ら旭川の命名に深く関与していた事を如実に表すエピソードと
 言えます。

よく勘違いされるのが、
 永山村は永山武四郎に敬意を表した地元民が名付けたという説ですが全くのデタラ
 メです。
 何故なら開村時はまだ兵村の建設工事が始まったばかりの時期で、
 工事に携わる職人や人夫さらに樺戸監獄の囚人らが一時的に入り込んで以外、
 屯田兵はもちろんここに住む住民など誰一人としていない原野だったのですか
 ら・・・。
 この状況は旭川村・神居村についてもほぼ同様で、
 この3村の命名については住民の意向とか関与は有り得ないのです。

私には永山に住む知人がいないので実態は分かりませんが、
 古くから永山に住む方々はこの明治天皇命名説を当然の事として受け止めているか
 もしれません。
 なぜなら永山神社の御輿には何と皇室と同じ菊の御紋が使われているそうです。
 この御輿は永山神社がまだ無格社時代の明治35年ころ調製されたものだそうで、
 当時絶対許されるはずのない御紋の使用が永山將軍・宮内省を経て明治天皇より特
 に勅許されたそうです。
 現実にこのような物証が残ってるという事は永山村と皇室との特別な関係を裏付け
 ているかと思えます。
 これについても村上氏の旭川市史小話で触れられています。

しかし・・・、
旭川の名の由来にも深く関連し、切っても切れない縁の永山の名の由来に関するこれだけ有力な説が、
しかも50年も前に公文書とも言うべき町史や広報誌などに堂々と掲載されていながら、
以降は全く顧みられる事なく、その後の市民に紹介される事もなく、
箸にも棒にもかからないアイヌ語意識説だけを垂れ流し続けてきた理由っていったい何なんでしょう？

Re: 旭川がよくわかるサイトですね 投稿者: momonga 投稿日: 2008年 8月21日(木)22時17分42秒

[返信・引用](#)

まるさんはじめまして。
サイトへのご訪問ありがとうございます。
こちらこそよろしく申し上げます。

街を探検して回ってるということは旭川に住まわれるのは初めてなのですね？
私を含め元々地元に住む人間はどうしてもマチを見る目が慣れっこになってますので、
まるさんの新鮮な？目で気が付いた事があればぜひ逆に教えてください。^_^;

旭川がよくわかるサイトですね 投稿者: まる 投稿日: 2008年 8月21日(木)01時29分46秒

[返信・引用](#)

momongaさん、はじめまして！ 最近、単身赴任で旭川に住み始めた者です。

休みのたび街を見てまわり、探検？していました。
旭山のみならずなかなか魅力あるなと思っていましたが、「何もない街」を拝見し、思いを新たにしました。

なかなかどうして、何もないどころか色々な楽しみのある街、ですよ。

これからも、どうよろしくお願い致します。

http://maru.txt-nifty.com/railside_season/

Re: 残暑お見舞い申し上げます 投稿者: momonga 投稿日: 2008年 8月19日(火)21時28分2秒

[返信・引用](#)

IMAIさんすいません。
盆休みボケでレス遅れた間にすっかり涼しくなっていました（笑）

これは男山酒造からの絵ですね。
旭川はどこからでも大雪山が眺められるのがイイですよ。

残暑お見舞い申し上げます 投稿者: IMAI 投稿日: 2008年 8月12日(火)13時41分4秒

[返信・引用](#)

涼しそうな??絵を 一枚。



Re: なるほど 投稿者:momonga 投稿日:2008年 8月 4日(月)23時34分23秒

[返信・引用](#) [編集済](#)

southcloudさん、差し出がましいなどともありません。
私は専門家でも何でもなく趣味で郷土史をかじっている一人に過ぎません。
私がもう少し突っ込んで調べてみようというきっかけになったのがこの旭川の地名にまつわる納得の行かないアイヌ語解釈に対する疑問だったのです。
で、多少調べたところで益々納得が行かなくなりさらにのめり込むハメになった
(笑)

忠別市になっていてもおかしくはなかったというのは全く同感です。
いや、むしろ何故そうならなかったのだろう?と、この問題をちょっとでもかじった人はまず感じる疑問ですよ。
語源がチュブ・ベッカそうでないかはともかく国見や開村の以前に「忠別」の漢字表記が既に成されてたわけですから・
これをそのまま使わず敢えて全く新たな「旭川」という命名をしたという事はそれなりの意図があったと考えざるを得ません。
アイヌ語由来説を唱える研究者でこの疑問に明確に答える人はいないと思います。
せいぜいソラチフト=空知太が意識されて滝川となった例を持ち出して旭川もこれと同様だろうと言ってる程度です。
しかしそれならば忠別太の語源となったアイヌ語にも明確に「朝日=旭」の意味が含まれていなければならない・
ところがアイヌ語研究者ら自らがこれについて様々な異説を唱えてる訳ですから完全に疑問のループ状態に陥っている訳です(笑)

旭川は100年ちょっとの歴史のわりに謎が多いとおっしゃるのも良くわかります。

実際問題明治42年の道庁火災により開村にまつわる公文書類が消失してしまったという事も大いに関係してると思いますが、私はそればかりではないと考えています。

たとえ公文書が失われたにしても昭和30年40年代くらいまでならこのへんの状況を直接的間接的に知る関係者が多数存命されていたはずで、調査しようと思えばいくらでもできたはずですよ。

当サイト内でも度々触れていますが、戦後になってやはりどこか軍都としての生い立ちを封印してしまいたいという意図が働いていたのではないかと思わざるを得ません。

実は当掲示板の今年3月の書き込みにもある通り、私も最近になって博物館の学芸員の方にお話しを伺ったのですが、意外にも博物館としては故松井恒幸元博物館長の考察論文を現在でも継承しているとの事。

この論文は私も当サイト立ち上げ後に初めてその存在を知り図書館で読んだのですが、あまりに自分の推論と共通するところが多くて自分でビックリしたものです。つまり博物館側としては随分と以前から「アイヌ語無関係論」を採用しているにも関わらず市の公式見解は未だに「諸説あって定かでない」として事実上「日の出づる川」を垂れ流している訳です。

おっと、ついまたまた長くなってしまいました。

すみません。今晚はこのへんにしておく事にしますね。

あと当掲示板のメール送信画面はセキュリティ上アドレスの@マークの前が常に非表示となります。

従って最初から正確なアドレスを書き入れていただかないと変更もできずメールが送れません。

申し訳ありませんが私宛に先にメールを入れていただくか、次回書き込みの際に正確なアドレスを入力していただけるでしょうか?

なるほど 投稿者:southcloud 投稿日:2008年 8月 4日(月)00時35分39秒

[返信・引用](#)

よくお調べになっていきますので、差し出がましく申し訳ございませんでした。
旭川の由来については、昔ですが市役所市史担当者から、諸説ありよくわかっていない。

と、話を聞いたことがございます。

momongaさんと同じように、なんで?どうして?と強い疑問を私も持ったことがあります。同じ事を感じる方(私よりもかなり高次元で)がいたことに、嬉しく思います。

私は、結論はないのですが、旭川という町は、100年ちょっとの歴史のわりに、謎が多い部分があり、なんで?どうして?と、強く感たり、一個人の勝手な思いで

こうなってしまったの？とか感じることはありません。
 旭川市に住む者として、それは街に対する思いや住みやすさとはまったく関係ないのですが、面白いなど感じる部分でもあります。
 旭川市の由来ですが、疑問に感じるのは、旭川市の一番古い学校は公立忠別小学校なのですが、他の市町村は、札幌とか滝川なんかも、そのまま現在の市名が頭にあります。なので、忠別市になっていてもおかしくはなかったと思います。
 ちなみに、旭川尋常高等小学校もあり、今の東旭川にある旭川小学校です。東旭川は、ウシュベツ川ですし、登られた近文山も、嵐山の近くですし、地理的感覚で言えば、ぐたやぐちゃです。momongaさんがおっしゃるとおり、こじつけは間違いなく、歴史的な背景もあって、旭川になったのではないかというのは、他の校名などから見ると間違いのないと思います。問題は誰が？どうして？なのですが、それを探求すると…
 またまた長々とごめんなさい。つつい楽しくて長くなってしまいます。
 以上の事は全くの推論ですので…
 有意義な情報かどうかわかりませんが、ちょっと掲示板では書きにくいこともありますのでメールアドレスを記載しておきます。（スパム対策で頭に1を付けてありますので、1を削除して下さい）

Re: 「旭川」の名の謎 投稿者: momonga 投稿日: 2008年 8月 3日(日)22時01分11秒

[返信・引用](#)

southcloudさんはじめまして。
 サイトへのご訪問ありがとうございます。
 当サイトは旭川の人間は自分のマチの事をもっと知るべきだという私なりの思いから開いたものですが、
 特に旭川の名の由来についてはほとんどの人がアイヌ語由来説を刷り込まれてしまっていてこれに疑問を感じる事なく盲目的に定説化している事に大きな疑問と危惧を感じています。

おっしゃる通り忠別の語源ひとつを取っても「チュプ・ペツ」だったり「チェウ・ペツ」だったり「チュク・ペツ」だったり「チュプカ・ペツ」だったりしますし、その意味の解釈も「日の川」や「波立つ川」やたぶんsouthcloudさんの言われている「秋の川」等々様々です。
 和人が聞き取るアイヌ語というのは言わばネイティブの外国語を聞き取るのと一緒で、さらにそれをカナで表現すると人によって十人十色になるし、時代によっても文字の使い方が変わります。
 要するに現在一般的に言われているアイヌ語からの意識という見解は、ほとんどその根本からして根拠に著しく欠けているというのが実態なのです。
 そもそも「忠別」は元をたどれば特定の川を指していたわけではなく、この近辺の地域を指していた事は明らかで、この事からも「忠別川」のアイヌ語意識が旭川の語源という図式は成り立ちません。

あっと、すみません！
 私がこの件を語り出すと長くなってとてもこの掲示板だけでは言い表せません
 (笑)

この件については当サイト立ち上げ後現在でも情報を探り続けていますので、いずれ機会をみて「旭川の名の謎」の続編とでも言うべきものを追加したいと考えています。
 自分の住むマチの名前にすら実は考えてた以上の経緯があって、それについて色々想像する事は楽しいですね。
 でも旭川の名はアイヌ語とは直接関係ないというのが私のスタンスです。

この写真は昨年近文山から写したものです。
 岩村通俊・永山武四郎らが国見を行なった際とほぼ同じ時期・時刻に合わせました。
 私の考えを一言で言うなら、この太陽を見た永山武四郎は即座に旭日旗を連想し、その後の開村の際に「旭日の川＝旭川」を命名したに違いないと思うのです。



「旭川」の名の謎 投稿者:southcloud 投稿日:2008年 8月 2日(土)16時52分10秒

[返信・引用](#)

momongaさんこんにちわ。はじめまして
 ネットサーフィンで流れ着いた旭川人です。なかなか面白いサイトと思い見させていただきました。
 その中でも「旭川」の名の謎は、かなり面白かったです。鋭い！！
 諸説あるようですが、私が知っているお話しでは、「チュプ・ペツ」のチュプは同音で異なる意味が複数あるらしく、チュプ=秋の魚の意味があるらしいです。アイヌの方達は地名に詩的感覚は用いず、実用性がある意味をつけた物が多いので、「秋に魚がいる川」という訳がしっくりいくかもしれません？秋の魚はおそらく鮭でしょう。
 それを、倭人が、自分たちの解釈で、旭川と訳したのかもしれませんがね。もしそうだとすると、旭川ではなく鮭川（笑）だったかもしれません。
 出過ぎた真似を長々と失礼いたしました。

Re: 谷ちゃんさん 投稿者:momonga 投稿日:2008年 8月 1日(金)00時05分21秒

[返信・引用](#)

谷ちゃんさんこんばんは。

いよいよ旭川も短い夏のクライマックスを向かえましたね。
 ワタシも明日はビールパーティーへ出かけようと思います(^_^)v
 でもすみません。さんろく祭りのイベント詳細までは把握してませんのでこちらを見てくださいな。

http://www.36fes.com/2008_36fes.html

(無題) 投稿者:谷ちゃん 投稿日:2008年 7月31日(木)20時46分10秒

[返信・引用](#)

旭川三六祭りでバンドのステージとか♪だと演奏ありますか？娘が見たいらしいので...

旭川常盤ロータリー 投稿者:voodoo 投稿日:2008年 7月21日(月)00時55分19秒

[返信・引用](#)

最新の写真、今、拝見しました。町行く人の姿がなんかのんびりしてていい感じですね。
 IMAIさんの写真も空が綺麗でやはり北海道らしい透明感が素敵ですね。
 羨ましいです。

<http://voodoo418.blogspot.com/>

Re: 自分も！！ 投稿者:momonga 投稿日:2008年 7月17日(木)21時57分24秒

[返信・引用](#)

いやいやどうしてどうして、すごくいいアングルじゃありませんか。
 超広角レンズを実にうまく使ってますネ。
 ワタシもこんくらいのレンズが欲しかったです（笑）

お気付きかと思いますが私のは森山病院の上階から撮りました。
病棟の廊下の窓からガラス越しに撮ってるので実は少し影が反射してます。
ナースステーションにひと言断れば問題なく撮れますヨ。

自分も！！ 投稿者:IMAI 投稿日:2008年 7月17日(木)20時02分26秒

[返信・引用](#)

お！！偶然自分も15日、ロータリー界隈の撮影をしていましたが
なかなかベストポジションが見つかりませんでした。

momongaさんの撮影ポイントがベストポジですネ (^o^)



酷道を行く 投稿者:momonga 投稿日:2008年 7月15日(火)20時07分5秒

[返信・引用](#)

実はひと月ほど前にイカロス出版の編集の方からメールをいただきました。
内容は当サイト「魔のロータリー」の写真を使わせてほしいとの事。
何ら断る理由は無いので「どうぞどうぞ」と言いたいところでしたが、
下記voodooさんへのレスにもある通り、考えてみればあの写真は3年前に撮ったもの。

「すみません。あそこは今マンションが建ってしまっていてかなり景観が変わってますが・・・」

と返信するも、

「あーいえいえ、そんなに大きく扱うわけじゃないので構いません」云々

いや、そちらが構わなくとも全国誌に旭川の古い写真を使われる事はワタシがナットクしません(笑)

などと自分のサイトの更新をずっとサボってる事を棚に上げてヘンなこだわり・・・(^_^)

てなわけで先日あわてて同じアングルから最新の写真を撮って来ました。

表題の「酷道を行く」というのがこのイカロス出版から今日15日発売になった誌名で、

全国の国道とは名ばかりの酷い国道を特集したDVD付きのユニークな企画です。

今回は特集第2段ということで「酷道を行く2」となっています。

問題のロータリーの写真はその中でも「酷道ではないけれど行ってみたい国道」という頁に載っています。

なるほど小さく載ってる・・・^^;

国道でありながら「ウソでしょ!？」という様な道路が多数紹介されておりなかなか面白い1冊です。

別に宣伝する義務はありませんが(笑)興味ある方は書店へどうぞ。

なお、近々中に同じ画像を当サイトにもUPします。



Re: こんなの作ってみました。 投稿者: [momonga](#) 投稿日: 2008年 7月14日(月)20時39分53秒

[返信・引用](#)

そうですか！ IMAIさんもサイトを開くのですね！
このようなロゴをデザインするくらいですからきっとオリジナリティ豊かなサイトになるのでしょうね。

今から楽しみにしています。
でもあまり凝り過ぎないようにね(^ ^)v

Re: こんなの作ってみました。 投稿者: [IMAI](#) 投稿日: 2008年 7月13日(日)22時36分58秒

[返信・引用](#)

> [No. 122\[元記事へ\]](#)

気に入って頂けて幸いです。
特にデザインの勉強はした事は無いですが
物作りは、とても好きです。

今、自分のサイトを作ろうと思い準備をしているところで
旭川紹介サイトを来年の4月頃をめどに進めています。

完成しましたら改めてお知らせ致します (^o^)

Re: こんなの作ってみました。 投稿者: [momonga](#) 投稿日: 2008年 7月13日(日)19時04分44秒

[返信・引用](#)

おおおお～！！
IMAIさん、すばらしいじゃないですか！

いやあ～感謝感激です。ありがとうございます！
私、一目で気に入りました。
出来合いのパーツばかりでつくってる当サイトに華が添えられる気持ちです。
それ以上にわざわざこのようなロゴをつくっていただいた事に深く感謝いたします。
ぜひ近々中にこのロゴを使用したトップページの更新を考えたいと思います。

私も一時自分でつくってみようかなとトライしかけた事はあったんですが、
即座に自分の表現力のなさデザイン感覚のなさを思い出し諦めました（笑）

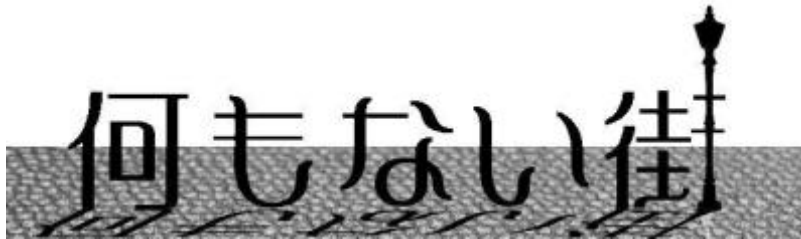
でもほんとにいいですねえー
もしかしてIMAIさんはこういったデザイン関係の勉強をされた方なんでしょうか？

こんなの作ってみました。 投稿者: [IMAI](#) 投稿日: 2008年 7月12日(土)13時54分25秒

[返信・引用](#)

勝手にタイトルロゴを作ってみました。
「何もない」と言うのがけっこう難しい。

もし良ければ使ってみて下さい。



Re: 常盤ロータリー 投稿者:voodoo 投稿日:2008年 7月 7日(月)23時26分34秒

[返信・引用](#)

> [No.119\[元記事へ\]](#)

こんばんは。

- > 最近ここにマンションが建てられて景観が大きく変わっております。
 - > 同じアングルの最近の画像は既に撮っておりますので近々更新いたします。
 - > ぜひまた覗いてやってください。
- 写真が更新されるのを楽しみにしています。

<http://voodoo418.blogspot.com/>

Re: 常盤ロータリー 投稿者:momonga 投稿日:2008年 7月 7日(月)19時45分42秒

[返信・引用](#)

voodooさんはじめまして。
書き込みありがとうございます。

お歳から察しますところ20数年前に旭川に住まれていたということでしょうか。

今のシンボルタワーができたのは・・・

いやあーそういえば私もあれが建ってから何年過ぎたのかトンと思い出せません。

10年やそこらは過ぎたと記憶してますが20年も経っていないはずですよ。

年齢を重ねるとともにこのへんの時間感覚が鈍くなってダメですね(笑)

いずれにしてもvoodooさんがおられた頃に無かった事は確かです。

ご覧になったロータリーの写真は3年ほど前に撮ったもので、
最近ここにマンションが建てられて景観が大きく変わっております。
同じアングルの最近の画像は既に撮っておりますので近々更新いたします。
ぜひまた覗いてやってください。

Re: その2 投稿者:momonga 投稿日:2008年 7月 7日(月)18時36分34秒

[返信・引用](#)

もう何年も工事やってますが確か今年度中の完成だったと思います。
橋の多い旭川ですが唯一6車線の橋ですよ。
こうして上空から見るとホントに広い!

常盤ロータリー 投稿者:voodoo 投稿日:2008年 7月 5日(土)22時06分33秒

[返信・引用](#)

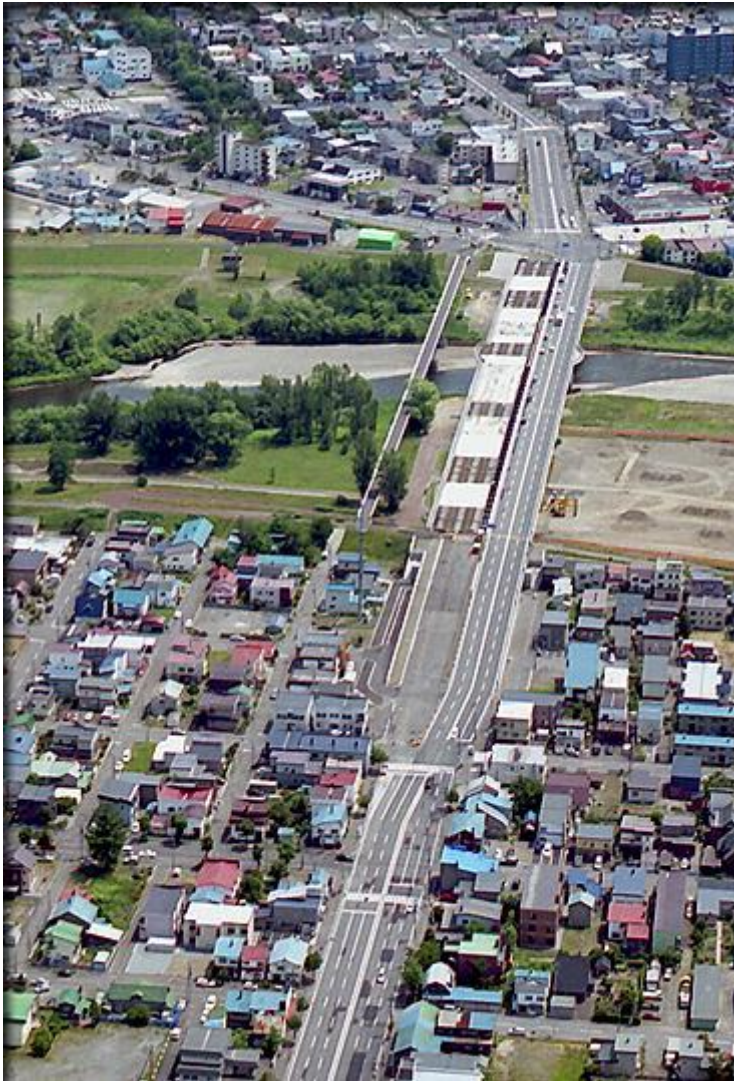
常盤ロータリーの写真を探していたら、このサイトを発見しました。
懐かしいですね。
でもシンボルタワーは記憶にありませんでした・・・

<http://voodoo418.blogspot.com/>

その2 投稿者:IMAI 投稿日:2008年 7月 5日(土)16時27分3秒

[返信・引用](#)

只今改修作業中の金星橋でございます。
完成は、いつでしたっけ??



Re: おみやです。 投稿者:momonga✉ 投稿日:2008年 7月 4日(金)00時14分55秒

[返信・引用](#)

なるほど、ありがとうございます。
今度行ってみようかな。

でもワタシは飛行機には慣れてるつもりですが、
グライダーって何だか怖そうですネ。

Re: おみやです。 投稿者:IMAI 投稿日:2008年 7月 3日(木)23時12分1秒

[返信・引用](#)

> [No.113\[元記事へ\]](#)

こちらが協会のサイトです <http://www15.plala.or.jp/AFA1/>
> という事はお乗りになったのはモーターグライダーでしょうか？
モーターグライダーでした。

> 離着陸はやはり愛別飛行場？
飛行場も伊香牛の河川敷に有るのですヨ～

Re: おみやです。 投稿者:momonga✉ 投稿日:2008年 7月 3日(木)22時38分27秒

[返信・引用](#)

へえー伊香牛に旭川航空協会なんてあったんですね。
まったく知りませんでした。
という事はお乗りになったのはモーターグライダーでしょうか？
離着陸はやはり愛別飛行場？
面白そうですねー。

Re: おみやです。 投稿者:IMAI 投稿日:2008年 7月 3日(木)21時15分6秒

[返信・引用](#)

> [No.111\[元記事へ\]](#)

始めは、愛別のダイコロ飛行場に行ったのですが、クサリが掛けてあり入れず以前アサタンに掲載があった、伊香牛にある旭川航空協会を思い出してそちらに行ってきた。

体験搭乗をしたいのですが・・・って乗って来ました。

2人乗りの小さい機体で振動がけっこう有り20分が限界でした。

Re: おみやです。 投稿者: [momonga](#) 投稿日: 2008年 7月 3日(木)00時29分34秒

[返信・引用](#)

うわ！いいなあ～～
これ、石狩川と忠別川の合流点ですよ。
なんだか忠別川のほうが真っ直ぐで本流に見えますネ。

今まだ遊覧飛行やってるんですか？
確か先日パイロット養成学校と遊覧飛行をやっていた北陸の会社？でしたっけ、撤退して愛別の飛行場も閉鎖になったと聞きましたが・・・

もしかしてこの飛行機かな？
↓



おみやです。 投稿者: [IMAI](#) 投稿日: 2008年 7月 2日(水)21時11分6秒

[返信・引用](#)

先日29日遊覧飛行に行ってきた。
空から見ると同じ旭川でもとても新鮮でした。



Re: 中国針 投稿者: [ほり](#) 投稿日: 2008年 7月 1日(火)23時48分7秒

[返信・引用](#)

> [No. 108\[元記事へ\]](#)

おかげさまで、嘘のように完治いたしました。

どうしても時にはお声がけください。
夜10時までやっております。

Re: 中国針 投稿者: [どさん子](#) 投稿日: 2008年 7月 1日(火)11時43分16秒

[返信・引用](#)

> [No.107\[元記事へ\]](#)

ほりさん、はじめまして。
情報ありがとうございます。

> 右腕の痺れと激痛に悩まされ、整形外科にいったのですが、
> 首を吊るだけで、夜も眠れないほど辛い毎日でした。
大変な事でしたね～。
その後良くなりましたか？。

> 鷹栖の針治療院です。
実家の母は西神楽なんですよ～。
移動はタクシーなので、近くの治療院との希望なんです。

> もし、その針治療院に興味がありましたら、ご連絡ください。
せっかくのレスなのですが、少し遠いので、ごめんなさい。

Re: 中国針 投稿者: [ほり](#) 投稿日: 2008年 6月30日(月)22時55分14秒

[返信・引用](#)

> [No.104\[元記事へ\]](#)

中国針かどうかわかりませんが・・・w
右腕の痺れと激痛に悩まされ、整形外科にいったのですが、
首を吊るだけで、夜も眠れないほど辛い毎日でした。

ひよんな時、同僚がここの針治療いいですよって教えてくれたのが、
鷹栖の針治療院です。
友人の紹介で行ったところ初診料の3000円は無料となりました。
1回の診療費が3000円で、他にお灸やら電気治療、そして最も効果のあったの
が
針治療でした。合計5回、15000円で、約1か月の整形外科の激痛を考えます
と
私にとって名医です。
もし、その針治療院に興味がありましたら、ご連絡ください。

実は、その治療院の名前忘れてしまって・・・。
ご希望でしたら、確認しておきます。

Re: 中国針 投稿者: [どさん子](#) 投稿日: 2008年 6月30日(月)15時58分28秒

[返信・引用](#)

> [No.105\[元記事へ\]](#)

momongaさんこんにちは。
> 、医大の隣のリハビリテーション病院へ行ったのですが、
> この病院の外科は主に骨や関節の治療とリハビリを専門としてまして、
> 針治療も行っており健康保険もきくそうです。
情報頂きありがとうございます。
母に伝えたいと思います。

私、趣味がサイクリングでしてね。
昨日は留萌から増毛を走りましたよ～。
(旭川から留萌までは車です。^^;))
天気が良かったので、海は青かったです。
その様子を貼っちゃいますね。



Re: 中国針 投稿者: momonga [✉](#) 投稿日: 2008年 6月30日(月)10時46分16秒

[返信・引用](#) [編集済](#)

どさん子さんはじめまして。
書き込みありがとうございます。

中国針ですか？

残念ながら自分も自分の周りにも経験者がいないので旭川のどこにどんな治療院があるのか知りません。

ただ、恥ずかしながらワタシ昨年ギックリ腰を患いまして、医大の隣のリハビリテーション病院へ行ったのですが、

この病院の外科は主に骨や関節の治療とリハビリを専門としてまして、私は結局受けませんでした。症状によっては針治療も行っており健康保険もきくそうです。

既に病院で診察を受けた事があるのかもしれませんが、お母様も専門医の診察を受けた上で針などの治療をなさったほうがよろしいのではないのでしょうか。

中国針 投稿者: どさん子 投稿日: 2008年 6月28日(土)11時34分28秒

[返信・引用](#)

momongaさん、はじめまして、こんにちはです。m()m

朝晩、寒い位ですが、夏らしい陽気が続きますね。

ちょっと伺いたく、書き込みさせて頂きました。

旭川で中国針をやっている治療院を知りませんか？

母がヒザに水がたまり、以前に中国針で痛みが和らいたと言う事で、探しています。

よろしく願います。

Re: 笑顔でアピール？ 投稿者: 田舎紳士 投稿日: 2008年 6月17日(火)09時05分5秒

[返信・引用](#)

> [No.102\[元記事へ\]](#)

こんな記事があったのですか……全く情けない話ですね～旭川の歴史や文化を掘り下げてろくに勉強もせずこんな記事を書くなんて……新聞記者ならもっと広い見識をもって寄稿して欲しいものです。

> 一糸乱れぬ隊列ときびきびした動きで行進の美しさを表現するものであって本来なら笑顔とは無縁のものです。

マーチングの本質と言うものはmomongaさんがおっしゃるとおりだと自分も思っています。

自分はマーチング当時小学校6年生でしたが、足並みがきちんと揃わないと担当の先生から棒で足を「パチン！」とやられて身体で覚えたものです。

そんな厳しい練習の積み重ねで次第にみんなの心がひとつになり、自然と足並みが揃った時は本当に嬉しくて達成感を覚えました。それとこの音楽行進は慰霊の意味

をもつ大事な行進なんだと当時の先生方はきちんと我々に教えて下さったように記憶していますしそれを聞かされた我々は心をひとつにして真摯な気持ちで一生懸命に演奏したのですから。

現在は過去の蓄積……過去を大事にしてこそ未来があるのではないのでしょうか？

旭川の歴史を考えればこの音楽大行進をヨサコイのようなお祭りと同列に語れるわけがありませんよね。

>momongaさん 田舎紳士を覚えていて下さったのですね～

笑顔でアピール？ 投稿者:momonga✉ 投稿日:2008年6月16日(月)23時44分42秒

[返信・引用](#) [編集済](#)

昨日の北海道新聞「読者の声」に、道新記者による音楽行進批評コラムに対する反論が載っていました。

私もこのコラムとやらを見逃していたのでどんなものだったのか先週の新聞を読み返してみました。

6月10日付け朝刊の道北「かわら版」にそれはありました。以下その抜粋。

『・・・ただ、気になった点があった。音楽大行進の参加者に笑顔が少なかったことだ。

はだ寒い曇り空の下、大きな楽器を抱えながらの演奏ということを考えても、どうも沿道に並んだファンに笑顔でアピールする姿勢が少なかったように見えた。

一方ヨサコイの方はどのチームも弾けるような笑顔が特徴で、観客に精いっぱいアピールしようという意気込みが伝わる。』云々

やれやれ・・・

新聞記者とあろうものがこのヨサコイ脳には呆れ果てます。

たぶん旭川勤務もまだ短いのですが、多くの旭川市民はこのコラムを見たら担当記者の無知を笑うでしょう。

実際「読者の声」に反論投稿があったのも大いにうなずけます。

まずこの記者はマーチングバンドというものの本質を全く理解していない上に、旭川の音楽行進を単なる娯楽イベントという観点でしか捉える事ができていないようです。

その上で審査員や観客に向かってのアピールが全てのようなヨサコイと同列比較するところに稚拙さを感じます。

そもそも軍の音楽隊を発祥とするマーチングバンドは、一糸乱れぬ隊列ときびきびした動きで行進の美しさを表現するものであって本来なら笑顔とは無縁のものです。

さらに旭川の音楽行進については元々慰霊の名の下に始められ今日まで続いている伝統行事であって、

莫大なカネを使ってまで入賞を競うコンテストとは全く異質のものです。

現在においてもその意味合いを強く残している背景くらい新聞記者として調べなかったのでしょうか？

もちろん近年ではイベント色が強くなっているのは事実で様々なパフォーマンスを取り入れるチームも増えています。

私もそれらを見て確かに楽しいし、いくら慰霊の意味合いがあると言ってもその事まで否定するものではありません。

一般人が見たまま感じたままにこのレベルの批評をする分には特に目くじら立てて文句など言いませんが、

新聞記者がそんな本質的な違いすら分別できずに単純比較で作り笑いが少ないと批評してどうするんでしょうね？

Re: 護国神社祭パレード 投稿者:momonga✉ 投稿日:2008年6月16日(月)23時20分5秒

[返信・引用](#)

田舎紳士さん、すごいお久しぶりです。

そうですね、田舎紳士さんもその時代を知る一人なんですネ。

旭川の音楽行進ではありませんが、私も小学時代は鼓笛隊、中学では吹奏楽でパレードを経験しました。

でもその頃、顧問の先生から旭川の音楽行進に出たいんだという話を聞かされた事

を覚えています。
結局私がその学校にいる内にそれは実現しませんでした、
その後私が観客の立場で見ている時その先生が別の学校を率いて出場していたことは印象的でした。
当時護国神社祭のパレードに出ることは吹奏楽関係者のあこがれでしたよね。

> 最近距離も格段に短くなってしかもロータリースタートの市役所経由・・・何故?! 何のために誰が変えたの? って思っている市民は自分だけでしょうか?

いえいえ、たぶん大半の旭川市民はそう感じてるはずですよ。
特に護国神社にも近く伝統的なパレードの経路だったみずほ通りの皆さんは気の毒だと思います。
誰が考えたのか、パレード経路の短縮はよけいな世話以外の何ものでもないと思います。

たまたまですが次レスにまた別の批判を書き込みたいと思います。

護国神社祭パレード 投稿者: [田舎紳士](#) 投稿日: 2008年 6月16日(月)17時41分21秒

[返信・引用](#) [編集済](#)

自分も小学校時代に鼓笛隊でパレードに参加しました。当時は護国神社スタートで旭橋を越え、買物公園を通過して日新小学校（懐かしい!）着だったと記憶しています。

小学生にとっては長い道程ですが、緊張感とパレード参加への誇らし気な気持ちが距離感を縮めてくれていたように記憶しています。

最近距離も格段に短くなってしかもロータリースタートの市役所経由・・・何故?! 何のために誰が変えたの? って思っている市民は自分だけでしょうか?

護国神社スタートだからこそ招魂祭独自の華やかさがあったのに・・・淋しいですよ～
何でも削除・簡略化する時代はそろそろ終わりにして欲しいです。

もういっちょ 投稿者: [momonga](#) 投稿日: 2008年 6月13日(金)22時23分35秒

[返信・引用](#)

アフターコンサートのひとコマです。
テイクファイブバンド。



英霊さんありがとう 投稿者: [momonga](#) 投稿日: 2008年 6月13日(金)22時16分1秒

[返信・引用](#) [編集済](#)

音楽行進行ってまいりました。
いつ雨が落ちてきてもおかしくないようなどんよりとした曇り空でしたが最後まで降らずに済みました。
涙雨を上がらせてくれた英霊さん達に感謝です。

今年は間近に迫ったサミットで忙しいのか? 道警音楽隊が参加しませんでしたね。

いつも先頭に華やかさを添えるカラーガード隊がいなかったのはちょっと寂しかったです。(^^)

その代わりに先頭を務めたのが何と第2師団音楽隊！

私の記憶にある限り自衛隊が先陣を切るというのは初めてではないかと思うのですが過去にあったのでしょうか？

それにしても何度見てもいいパレードです。

観客の雰囲気を見てもいかにも市民に定着した伝統を感じさせてくれます。

お年寄りの観客が多いのもその表れかと思います。おじいちゃんおばあちゃんも若い頃出場したのかもしれない。

参加団体は毎年ほぼ同じ団体で大半を占めますが、ここ数年1つまた1つと札幌の団体が増えつつあるようです。

同じ日、札幌では騒乱？状態ですからブラスバンドは旭川に逃げ始めたのでしょうか(笑)

たいへんユニークな一般参加バンドが現れ始めたのも嬉しい限りです。

アフターコンサートもパレードとはまた違った魅力があり、バンドと観客が一体となって楽しんでいきます。

ちなみに全て終了後、体を暖めるため？実に久々にサンロクの居酒屋さんに寄ったんですが・・

ちょうど居合わせたお客さん、60歳の男性でしたが何とわざわざ苫小牧から1人でパレードを見に来たとの事。

お孫さんや知り合いが出てるという訳でもなく純粋にパレードが好きでその日はホテル泊まりだそう。

昔旭川で見た音楽行進が忘れられず、以来何度も来ているそうで今回は5～6年振りとの事でした。

いやあ～ワタシもかなりの好きモンですが、上には上がいるもんですネ。



涙雨 投稿者:momonga 投稿日:2008年6月6日(金)19時54分41秒

[返信・引用](#)

毎年触れている話題ではありますが、今年もまた降りましたのでついつい書きたくなります。

昨日の雨は場所によって涙雨と呼ぶには少々激しかったようで、雷が響き雹の降ったところもあったようです。

年々戦没者を敬う気持ちが薄れてきているので天上の英霊さん達も少し怒ったのかもしれない。

旭川の護国神社に祀られているのは、北海道と樺太の開拓に従事した屯田兵であり、

第七師団となってからもこの屯田兵に加え道内各地から兵役で集められ戦場で散っていった一兵卒がほとんどです。

お上の意向がどうであれ開拓と国防の両方に従事した先人達の想像を絶するような労苦に頭を下げずにいられません。

特に旭川という街はこの事によって生まれ発展した典型のような街です。

北海道と旧樺太を代表し、この先人達の労苦を敬い慰霊するのは旭川市民としての責務のような気がします。

話を涙雨に戻しますと、

ホントに不思議ですよ、この雨は。
 今年はそれでも天気予報が雨になっていたのだからそれなりに納得できますが、
 確か去年は雨の予報はなく、日中も良く晴れ渡っていたのですがに今回は涙雨な
 しかと思っていたら翌朝はしっかり道路が濡れてました。
 既に消えてますが当掲示板（旧）にもその事を書き込んだ記憶があります。
 この涙雨だけは天気予報を超越した何かがあるようです。

ただ・・

天上の英霊さまに一つだけお願い！

明日の音楽行進とアフターコンサートの間だけは涙を我慢して！（^_^;）

気が付けば護国神社祭 投稿者: [momonga](#) 投稿日: 2008年 6月 3日(火)23時33分18秒

[返信・引用](#)

ここのところしばらく護国神社に繋がる話題を続けていたにも関わらず、
 テレビでヨサコイソーランの番組宣伝が流れなければお祭りの事を思い出しません
 でした。
 最近はずっかりこのヨサコイ宣伝で護国神社祭と音楽行進を思い起こすように感化
 されてしまったようです（笑）

それにしても道内テレビ局のヨサコイソーランへの肩入れはちょっと異常ではない
 でしょうか？
 各局ともこの時期になるとしつこいほどに前宣伝を始め、開催期間中は何時間もの
 特番を組みます。
 終わった後も入賞チームの踊りを中心に何度も何度も同じ映像を繰り返し流しま
 す。
 正直この金満コンテストにはうんざりです。

今週末7日には伝統ある北海道音楽大行進が開催されます。
 ほんの少力で良いから道内放送局にはこちらにも振り向いてもらえないものかと願
 ってやみません。
 そもそも主催者側の一人であるはずの北海道新聞が毎年ほとんど報道らしい報道を
 しないのはなぜなのでしょう？

石垣山の洞窟 投稿者: [momonga](#) 投稿日: 2008年 5月30日(金)23時43分46秒

[返信・引用](#)

愛別に石垣山という眺めの良い山がありますが、先日登ってきました。
 最大の目的は間宮林蔵や松浦武四郎が宿泊したとされる洞窟を見るためです。

この山はさほど高くはないですが頂上付近が断崖になっていて南北に3~400m
 開いた屏風の様になっています。
 正面（国道39号線側）から登ると南側からこの断崖直下に沿って歩き崖の北端か
 ら回り込んで頂上に達します。
 頂上は断崖になってる分視界を遮るものがなく眼下に石狩川・愛別付近の美田と天
 塩岳方面の山並が一望できます。
 麓の登山口からは荒れた山道で1時間以上かかりますが、何の事はない、裏側から
 だと頂上近くまで車で行けます。
 私はモチロンおにぎり詰めたザックを背中にカメラバックも抱えて歩いて登って来
 ました。（^）v

洞窟はこの屏風岩の中程、登山道脇の急斜面を這いつくばるようによじ登った断崖
 の切れ目にありました。
 いやはや本当にわざわざこんな所で宿泊したのか？と思えるような場所でしたが、
 確かに見晴らしは良いし雨風は一応凌げそうだし岩の隙間からは地下水が染み出
 ているので水にも困りません。
 おまけに周りの急斜面にはウドやゼンマイなどの山菜がニョキニョキ。（採ってる
 余裕はありませんでしたが）
 間違いなくこの洞窟の存在を知るアイヌの案内で宿泊したのでしょう。
 垂直に切立った岩の下部を真四角に繰抜いた様な洞窟は、昔は今の倍くらいの高さ
 がありもっと広がったそうです。
 頭上の岩がだんだん劣化して沈下してきており、いずれは完全に潰れてしまう運命
 にあるのでしょう。
 今見る限りでもここに入り込んで一時でも過ごそうなどという気は起きません。

それにしても知れば知るほど先人達の超人的な健脚ぶりには驚かされます。
 彼らは内陸部調査の全行程を自分の足だけで獣道を歩き、丸木舟で川を遡ったり下

ったりしたのですから・・
 当時は上川原野に入るだけでも大変だったろうに、
 さらに石狩川を水源近くまで遡って大雪山連邦から十勝岳連邦まで巡った者もいま
 ず。
 現代の登山装備を以ってすら山岳登山のベテランがフル装備でなければできない行
 程です。
 すごいですねえ～
 ワタシのような軟弱者はひと山登っただけでぜえぜえ言って翌日からは筋肉痛です
 (笑)

補足；
 間宮林蔵については樺太の間宮海峡で知られるように世界的にも有名な探険家とさ
 れてますが、
 実際は幕府による隠密調査だったらしく、松浦武四郎のように行程や調査結果を記
 す文書は残っていません。
 当時はまだ海岸線の調査が主体で、本当に内陸の上川まで入ったかどうかは疑問視
 されています。
 ただ、元来この地に住む近文アイヌの中には「間見谷」姓を名乗る一族がいて、
 この一族に伝わる伝説や身体の特徴などから実は間宮林蔵の子孫ではないのか？と
 の逸話があります。



登山道から傾斜40度はあろうかと思える急斜面を
 よじ登ったところの岩の付け根に洞窟があった。
 洞窟の正面に真っ直ぐ立っているのはけっして電信
 柱などではありません。

まるで人工的に切り取ったように四角い。
 表札のように書いてある木札には「間宮林
 蔵（文化年間）松浦武四郎（安政四年）宿
 泊の洞窟」と書かれている。



ふと見上げると、ん？付けっ！スパイダーマン！？
 ひええ～へへトだよヒト・・崖にへばりついてる・・
 しかもどお見ても彼は重力の存在を無視してるとしか
 思えないんですが・・



同じへばりつくんでもこちらは
 まあ安心。
 しかし・・何が悲しくてこんな
 ところで生きて行く決心をした
 んでしょうか。



石狩山山頂からの眺めです。水を張った水田が鏡を敷き詰め
 たように綺麗でした。足元は垂直の絶壁なのでちと怖い。

Re: 書き込みを見て 投稿者: momonga 投稿日: 2008年 5月27日(火)19時56分29秒

tomoさんこんばんは。

不思議なもんですよね。

同じように神社関係者から直接話を聞いた方々が一方では「ある」と言い、一方では「ない」と言う・・・

どこでこの違いが出てくるのでしょうか？

やはりどこかで事実と噂が錯綜してるという事なんですか。

旭日章の撤去に直接携わった方でまだまだご存命の方がどこかにおられると思うのですが、

僅か60数年前の出来事が分からない事にもどかしさを感じます。

前の書き込みでは護国神社に対しやや批判めいた文になってしまいましたが、むしろ私は護国神社にあってくれればいいなというほのかな期待を持っています。

護国神社であれば撤去した後持ち込まれていても不思議はないし、

もし持ち込まれたとすれば丁重に保管してくれていたと思います。

ミステリードラマじゃありませんが後の神社関係者にすら分からない場所に隠したとか・・・(笑)

いずれにしてもこの件に関して私もこれ以上の情報を持ち合わせていませんので、神社側にありませんよと言われればそれまでです。

溶かされて鍋釜になっていない事をただただ祈るのみです。

書き込みを見て 投稿者: tomo 投稿日: 2008年 5月26日(月)21時11分53秒

[返信・引用](#) [編集済](#)

早々、知り合いの予科練出身で、当時のことを知る方に尋ねてみました。

当時の宮司さん・藤枝さんと言う方のように、

それらについて完全に否定されたそうですよ。

また、当時の状況を考えた時、それはかなり勇気のいる行為だったようですし、

物資不足で鉄帽も鍋にした時代背景を考えた時、それはあまりにも

唐突だともおっしゃってました。

戦後何年かして、勅諭の所在についてかなり騒いだ時期もあったようですが、

やはり結論にいたっておらず、それを設置した業者が取り外したまでは

分かっているそうですが、その後は不明だそうです。

結論は難しいですが、

それは溶かされて何かになったと考えた方が自然かと思います。

今の宮司様ともお話をする機会がありますが、

決して、それを隠すような方とは思えません。

これは、あくまで個人的な見解です。

《前のページ

23

24

25

26

27

28

29

30

31

32

次のページ》

以上は、新着順1451番目から1500番目までの記事です。

/ 32 ページ移動

新着順 投稿順

[【論・旭川】 HPへ戻る](#)

[管理者へメール](#)

[RSS](#)

[管理者メニュー](#)

[自分の投稿の編集](#)

